

6月5日 rakumo 株式会社 創業者 取締役会長 御手洗 大祐氏

学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ

本日は貴重なご講演をいただきありがとうございました。

講義を通じて、特に印象に残っている点が2つある。まず、事業において御手洗さんが大切にされている「ビジョン」「変化」「諦めないこと」に関して話を聞くなかで、経営者としての役割について深く考えさせられた。特に、「満員電車に乗りたくない、乗らなくていい社会にしたい」という具体的なビジョンは、御手洗さんの実体験でもあり、多くの人に共感されるとても良いビジョンなのだとと思った。単なる理想論ではなく、日々の生活中にある違和感を社会全体の課題として捉え直し、それを事業として解決しようとする姿勢に、経営者の責任と覚悟を感じた。また、「変化を呼び続けられるのは経営陣だけ」という言葉も印象的だった。現場が変化を恐れるなかで、率先して変化を示し続けるのが経営者の仕事であるという考えには深く共感した。同時に、それを実現させるためにかなりのエネルギーを注いできたのだと思った。「ビジョンと取り組みが正しければ、時代があとからついてくる」という言葉からも、短期的な成果だけでなく、信じた方向に取り組み続ける長期的視点の重要性が伝わってきた。変化を起こし、ビジョンを語り続け、諦めずに前に進むこと。これこそが、経営者に求められる本質的な役割なのだと感じた。

次に、経営者になりたい若い人が今やったほうがいいこととして語られていた内容にも深く共感した。「いろんなところに行って、いろんな人と話す」「今と違う環境に飛び込む」「共感する力を養う」といったアドバイスは、どれもすぐに実行できる現実的なものだった。御手洗さんは、経営者には「大きな課題を見つけてソリューションを考える力」と「人を巻き込む力」の両方が必要だとおっしゃっていた。特に、情報整理や分析といった機能がAIによって代替されつつある今、人間にしかできない「感情に寄り添う力」の重要性がますます高まっているという指摘は特に印象に残っている。AIには代われない人間としての価値について考え、身につけていきたいと思った。

本日の講義を通じて、ビジョンを持ち続け、変化を促し、人と向き合い続けるという御手洗さんの考え方大きな刺激を受けた。本日は改めて、学びの多いご講演をいただきありがとうございました。(経営学部2年)

本日はお忙しい中にも関わらず、我々学生のために講義をしてください、ありがとうございました。今回のお話は、個人的に参考になる部分が多くありました。SaaSの事業モデルに関しては、私自身もそこを基盤にして起業するための事業モデルを何とか思案している最中だったため、多くのことを学ぶことができました。御手洗さんが事業を展開し始めた時期はインターネット黎明期に近く、その時点ではいろいろなことが未知数であったに

も関わらず、積極的に事業を展開していくこうとしたその姿勢にまずは学ぶところがあると感じました。そして事業を展開していく中で、外部受託事業を切り離すタイミングがあつたと思いますが、その事業を切り離すという決断に、かなりの労力が必要になったと推察しますが、そういったビジネスと感情的な部分の切り分けという面でも、他者の経験というレンズを通してではありますが、とても勉強になりました。

そして、個人的に印象に残ったのは、最後のプライシングに関する部分です。前回、pokeトークの関係者の方にpokeトークのプライシングについてお伺いするタイミングがありました。やはりその時も買いやすい値段を先に決めたということをおっしゃっていたので、通ずるところがあると感じました。また、SaaS ビジネスにおいて、粗利と粗利というのが高くなりやすいというのは、以前インターンに行った時にも学んだのですが、それをうまくビジネスという形に落とし込むことの難しさを感じていたところで、今回の御手洗さんのお話を聞くことができたので、非常に有意義な時間になりました。

また、「IQ より EQ」というのは昨今よく言われる言葉ではありますが、今回の AI と絡めたお話の中で、今後の我々人類側の発展を考えた時、差別化できる部分としても、この視点は非常に重要な部分であると感じました。

最後になりますが、本日はお忙しい中で我々学生のために貴重な時間を使って講義をしてください、ありがとうございました。今回学んだことを今後の自分の人生設計に活かしていきたいと思います。(教育学部2年)

本日は講義ありがとうございました。今回の講義を通じて、「自分の課題意識を原動力にして社会に価値を生み出すこと」の重要性を学びました。御手洗さんはNTT勤務時代に非効率な働き方を経験し、「満員電車」「無駄な会議」「意味のない出社」といった自身の違和感を明確に捉え、それを起点として起業に至ったという話が印象的でした。誰もが感じる「めんどくさい」「おかしい」といった感情を見過ごさず、ビジネスという形で解決しようと行動する姿勢は、非常に実践的で現実的なヒントになると感じました。

また、「仕事をラクに、オモシロく」というシンプルなビジョンや、「一人一人の生産性を上げることがこれから社会に必要」という考えには深く共感しました。現在の労働環境では、就業者人口が減少する中で多様な人の参画が求められており、誰もが効率よく働ける仕組みづくりが急務だと思います。講義の中で語られた「勝ち負けはメンタルの問題」という言葉も強く心に残りました。成功とは環境や能力の差ではなく、諦めずに行動し続けることによって生まれるものなのだと実感しました。

さらに、EQ(共感力・理解力)がこれから時代に重要だという話も納得感がありました。AIが台頭する今、情報処理や計算能力ではなく、人間にしかできない「感情の理解」や「人との信頼関係づくり」がより求められていくことを意識し、自分自身もコミュニケーション能力や共感力を磨いていきたいと感じました。今後は自分の感じた課題を深掘り

し、それを行動や提案につなげる姿勢を大切にしていきたいです。
改めて、ありがとうございました。(経営学部1年)